

令和6年度事業報告

令和6年度は、ロシア・ウクライナ問題の膠着、中東情勢の緊迫化、アメリカ大統領選挙後の保護主義の台頭など先行き不透明な状況が続きました。

我が国においては、能登半島の地震に続く豪雨災害、本県選出の国会議員で初の石破内閣総理大臣の誕生、衆議院議員選挙で与党が過半数割れするなど変動の年度でありました。

国内経済において33年ぶりの大幅な賃上げや過去最高水準に達した民間投資などのプラスの面と世界情勢の影響を受けた原材料費の値上がりによる経営圧迫や物価高による国民の消費意欲減退などマイナスの面が見られる不安定な状況でありました。

このような中、われわれ鳥取県経済同友会は、より良い地域づくりを目指して令和6年度活動方針に沿って、各種の活動を展開してきました。また、東部・中部・西部、各地区が例会、委員会活動を活発にし、各種提言、要望活動に取り組みました。

令和6年度の主な取り組み事業として、第31回岡山・鳥取県経済同友会合同懇談会を10月8日に江府町で行いました。懇談会に先立って、サントリー天然水奥大山ブナの森工場を視察し、徹底した品質管理体制、厳しい検査体制、水源涵養事業の全国展開等の説明を受けました。講演会の第1部では、江府町職員で地域プロジェクトマネージャーの光島宏美氏が「奥大山自然塾を通じた環境教育の取組」と題して講演されました。講演後、会場隣接の大山の森を現地案内していただきました。第2部は、本同友会会員の天籟株式会社 桐村里沙氏が「ネイチャーポジティブとプラネタリーヘルス」と題して講演されました。天籟株式会社は、江府町プラネタリーヘルス推進に関する連携協定を締結され、町の遊休施設を拠点に学びと実践に取り組まれているとのことでした。

第51回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会を11月5日に米子市で行いました。講演会では、株式会社ジェイキャスエアウエイズ代表取締役の梅本祐紀氏をお招きし、「新規航空路線と地方活性化」と題して講演いただきました。梅本氏は、米子便就航までの使用機材、チーム体制、人流を生み出す戦略、需要予測等詳しく説明されました。つづくパネルディスカッションは、講演をいただいた梅本氏、島根経済同友会の松尾倫男代表幹事、一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局の花形泰道理事長、鳥取県経済同友会の細田耕治代表幹事の4名をパネリストとして行われました。米子空港が世界に開かれた空港になるためには、関空と繋がるのが重要などの意見が出され、活気のあるパネルディスカッションとなりました。

その他、全国・西日本地区で開催されたセミナーや合同懇談会、代表幹事会、日本海沿岸経済同友会会議、円卓会議などの会議にも出席しました。

詳細については各地区の総会でも事業報告がされていますが、主な内容については次のとおりです。

- 1 監査会（4/16）
令和5年度会計監査
- 2 県幹事会・定時総会同時開催（6/12）
 - ・令和5年度事業報告、決算について
 - ・令和6年度事業計画、予算案について
 - ・役員選任について
 - ・定款変更について
- 3 正副代表幹事会（2/28 オンライン）
 - ・令和7年度定時総会開催について
 - ・県同友会創立60周年記念事業について
 - ・県同友会に対する負担金等について
 - ・全国会議日程・合同懇談会等開催予定について
- 4 例会・委員会・幹事会等（定時総会は各地区とも開催した）
<東部地区>
 - ・定時総会 1回、正副代表幹事・総務委員長（毎月開催）、総務委員会 毎月開催、例会 10回、学校編成・観光戦略特別委員会 1回、SDGs・脱炭素社会推進特別委員会 2回、・デジタル化特別委員会 1回、各委員会 11回
 - ・各種会議・関係会議多数出席
 - ＊例会（講演）のテーマ
 - ・視察 芸術文化観光専門職大学（豊岡市）（4月）
 - ・「鳥取県教育委員会との連携について」
 - ～鳥取県高等学校講師派遣の実績と今後の方針について～
 - ～鳥取市立中学校との企業連携について～（7月）
 - ・「移住者が定住者となるためのコツ
 - ～シカとイノシシで見えてきた中山間地問題を通して～」（8月）
 - ・「日本初の女性弁護士 中田正子について」（9月）
 - ・現地研修 鳥取市青谷町
（青谷かみじち史跡公園、ダイキンアレス青谷、あおや和紙工房）（10月）
 - ・「広域観光を見据えた智頭急行の取り組み」（11月）
 - ・「鳥取市の交通政策について」（12月）
 - ・「鳥取県から日本創生にチャレンジ」（1月新年例会）
 - ・「二拠点生活と明日への懸け橋」（2月）
 - ・交流 岡山経済同友会津山部会（津山市）（3月延期⇒6月）
 - ＊各委員会の活動
活動方針に基づきキーワードに沿って研究議論、担当例会の打ち合わせ

<中部地区>

- ・定時総会 1回、幹事会 12回、例会 9回（原則毎月第3金曜日） 委員会 1回

*例会テーマ

- ・「お問合せ窓口 DX～企業のお問合せ窓口での AI 活用～」(4月)
- ・見学会「アート格納庫 M」(7月)
- ・「美術館の使命と鳥取県立美術館」(8月)
- ・「今後の為替相場を占う上で、内外景気やインフレ、金融政策動向を分析する」
(9月)
- ・「社会課題解決は地域成長の鍵」(11月)
- ・「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）について」(12月)
- ・「桃太郎少年 琴櫻」(1月)
- ・中部地域の交通インフラ整備と地域活性化」(2月)
- ・「AI 活用によるエンドユーザー業務効率化」(3月)

<西部地区>

- ・定時総会 1回、幹事会 1回、監査会 1回、懇談会 3回、例会 10回、
総務委員会 11回、総務委員会正副委員長会議 11回、委員会・特別委員会 11
回、視察会・研修会 6回、その他出席諸会議（協賛、後援含む）等 23回

*例会（講演）内容（テーマ）

- ・「邪馬台国の首都は米子だった？～米子が再び日本の中心地になるためには～」
地域活動紹介 (5月)
- ・「証券業界及び経営者の経験から」(7月)
- ・「東北大学のスタートアップの創出と育成による地域活性化の取組」(7月)
- ・「米子空港について」、「鳥取県の航空路線の現状と展望」(9月)
- ・「農泊をめぐる状況について」、「南部町における農家民泊とこれから」(10月)
- ・「“なんとなく” ではない成果に繋がるDXの進め方とは」(11月)
- ・「鳥取県から日本創生にチャレンジ」(1月)
- ・「江府町におけるフィールドワーク報告」(1月)
- ・「境港の活性化を考えた提言」、「文化財の3D化と境港における3Dによる戦略」
(2月)
- ・「二ホンモモンガの生息地保全と地域活性化、そして本学（公立鳥取環境大学）の
これから」(3月)

5 全国の経済同友会との交流

- ・第36回全国経済同友会セミナー (R6.4.18 福井市)

【テーマ】 どうする！人口減少 NIPPON～幸福度日本一の地で考える～

- ・第10回西日本経済同友会代表者会議 (R6.7.18 大阪市)

【テーマ】 「出産・子育てしやすい社会に向けて企業がなすべきこと」

- ・日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミットの今後について (R6.7.23 千代田区)

- ・ 2024年度全国経済同友会事務局長会議（R6.9.5～6 仙台市）
- ・ 第31回岡山・鳥取県経済同友会合同懇談会（R6.10.8 江府町）

【視察】サントリー天然水奥大山ブナの森工場

【懇談会/講演】

演題：「奥大山自然塾」を通じた環境教育の取組

江府町地域プロジェクトマネージャー 光島 宏美 氏

演題：「ネイチャーポジティブとプラネタリーヘルス」

天籟（株）代表取締役医師

鳥取県経済同友会西部地区会員 桐村 里沙 氏

【懇親会】休暇村奥大山

- ・ 西日本経済同友会代表幹事会（R6.10.11 松山市）
- ・ 第121回西日本経済同友会会員合同懇談会（R6.10.11～12 松山市）

【テーマ】感動が創る 地域価値を未来へ！

～歴史・文化・自然 誇れる愛媛の地やけん～

- ・ 第51回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会（R6.11.5 米子市）

【講演】演題：「新規航空路線と地方活性化」

（株）ジェイキャスエアウエイズ 代表取締役 梅本 祐紀 氏

【パネルディスカッション】

（株）ジェイキャスエアウエイズ 代表取締役 梅本 祐紀 氏

島根県経済同友会 代表幹事 松尾 倫男 氏

（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局 理事長 花形 泰道 氏

鳥取県経済同友会 代表幹事 細田 耕治 氏

- ・ 2024年全国経済同友会代表幹事円卓会議（R6.11.25 神戸市）
- ・ 日本海沿岸地域代表幹事サミット事務局長 web 会議（R6.12.13 オンライン）

6 その他の会議への参加、出席等

- ・ （公社）とっとり被害者支援センター理事会・総会
- ・ 連合鳥取との意見交換会
- ・ 鳥取県産業教育振興会理事会
- ・ 鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク総会
- ・ 鳥取県「令和の改新」県民会議
- ・ 中国横断新幹線整備推進会議総会
- ・ 米子空港利用促進懇話会総会
- ・ 国際定期便利用促進協議会総会
- ・ 米子中金会・米子中金ユース会・鳥取県中小企業団体中央会総会・講演会
など

*令和6年度版写真入会員名簿の作成

*その他経済同友会の関連の団体組織が主催する会議への出席参加等